

秋葉山古墳群

国史跡指定20周年記念講演会

～秋葉山古墳群と南関東の出現期古墳を再考する～



△秋葉山古墳群1号墳(令和6年)

参加無料
事前申込制

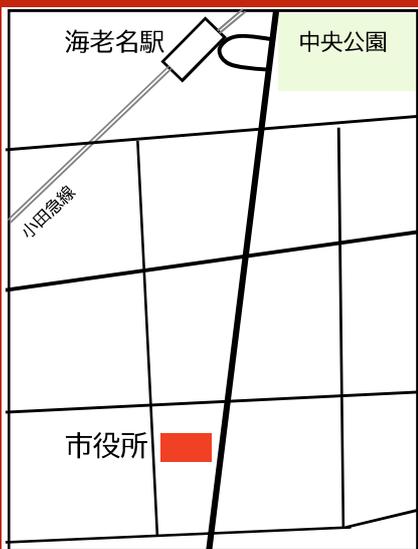
定員120名
※応募者多数の場合抽選

【開催日時】
令和7年

7月13日(日)
10時～16時45分

【会場】
海老名市役所
401会議室

▽秋葉山古墳群3号墳出土土器



小田急小田原線・相鉄線海老名駅下車徒歩約15分
※公共交通機関をご利用ください。

【主催】海老名市教育委員会

【共催】(公財)かながわ考古学財団

【後援】神奈川県教育委員会

秋葉山古墳群が国史跡に指定されてから、令和7年で20年を迎えます。この20年の間に、東日本での前期古墳調査成果の蓄積、相模川流域の低地遺跡の発掘調査や研究成果の進展があり、相模地域の弥生時代後期から古墳時代前期にかけての遺跡の調査も多くありました。

指定から20年たった今、改めて秋葉山古墳群築造の背景や南関東における古墳築造の開始について検討します。

秋葉山古墳群について

秋葉山古墳群は、座間丘陵座間面の頂部に造られた古墳群で、現在6基確認されています。発掘調査により弥生時代終末期（3世紀後半）から古墳時代前半（4世紀）にかけて継続的に造られた墳墓群であることが確認されました。

秋葉山古墳群第2号墳の後円部頂上は標高84.6mと市内で最も標高が高い地点で、この上に火を防ぐ神を祀った「秋葉社」という祠がありました。この祠から第2号墳は秋葉山古墳と古くから呼ばれ、これが古墳群の名前になりました。

午前の部 10時～12時

○事例発表



小林友佳氏（（公財）かながわ考古学財団）

「相模川流域の前期（出現期）古墳」



山口正憲氏（葉山町教育委員会）

「長柄桜山古墳群と南関東の出現期古墳」



小森明美氏（株式会社玉川文化財研究所）

「相模川流域の弥生時代後期から古墳出現期の集落」

午後の部 13時～16時45分



佐藤祐樹氏（富士市教育委員会）

「スルガとサガミの前期（出現期）古墳について」

○特別講演



青木 敬氏（國學院大學）

「東日本における出現期古墳の特質」

○質疑応答・パネルディスカッション

申込方法

電子フォームまたは往復はがきで。

往復はがきの場合、往復はがきの返信用表面に住所・氏名を、往信用裏面に住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、〒243-0422 中新田377海老名市教育総務課文化財係へ。

＼電子フォーム／



申込期間

6月3日8時30分～6月20日（金）17時15分必着

問い合わせ先：海老名市教育委員会教育総務課文化財係

〒243-0422 海老名市中新田377 電話（046）235-4925